

大学への愛着度 52

ワセダが好き

早稲田大学が「好き」(53.3%)、「やや好き」(36.9%) = 合計90.2%

大学生活の充実 53

大学生活の充実度が上昇傾向

「(充実)している」、「やや(充実)している」

2009年度 43.2% + 41.8% 合計85.0%

2010年度 44.6% + 45.2% 合計89.8%

大学の選択 54

大学を選ぶ大きな理由は、

「専門分野がある」「知名度・注目度」「進路・就職に有利」

「自分の志望する専門分野があった」：40.5% 「知名度・注目度の高さ」：34.5%

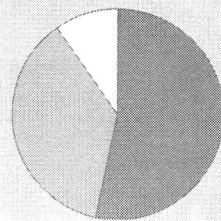
「将来の進路・就職に有利」：31.3%

調査結果の要約と特徴 55





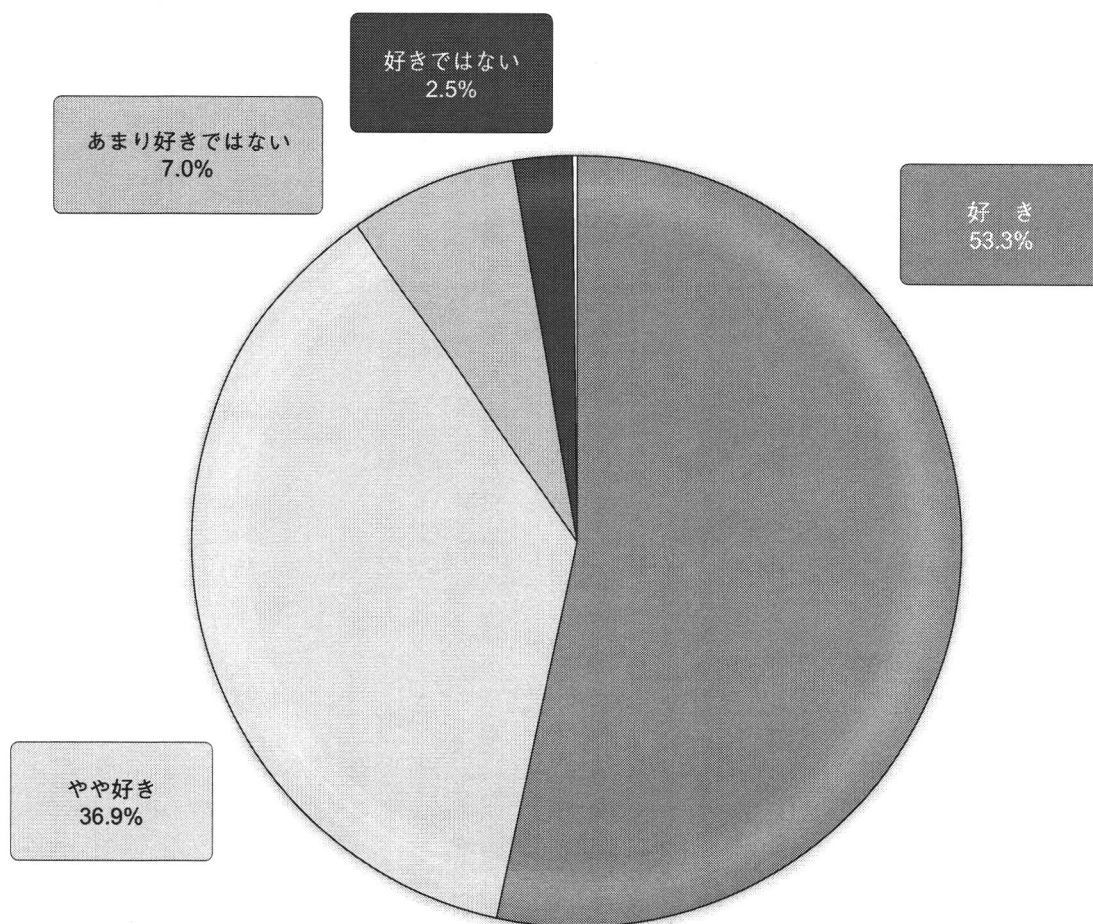
ワセダが好き



早稲田大学が「好き」(53.3%)、「やや好き」(36.9%)
= 合計90.2%

「早稲田が好きですか」という質問には、「好き」「やや好き」の回答が、例年変わらず9割台を推移しています。理由として一番にあげられるのが、「伝統・校風・雰囲気」(67.4%)です。入学形態別に見てもほぼ9割を占めています。

早稲田大学は好きですか？





大学生生活の充実度が上昇傾向



「(充実)している」、「やや(充実)している」

2009年度

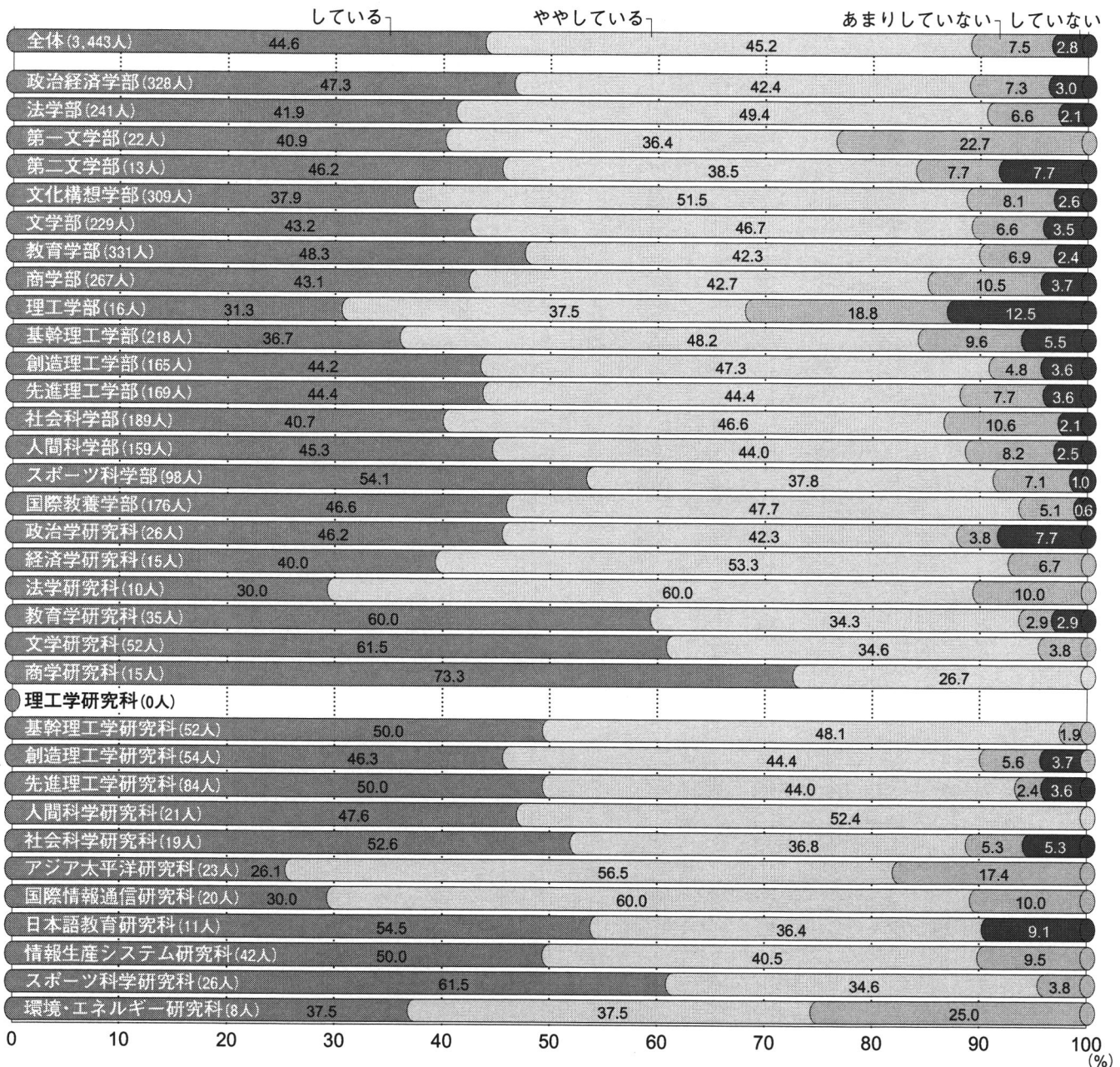
43.2% + 41.8% 合計85.0%

2010年度

44.6% + 45.2% 合計89.8%

全体的に見て充実度は昨年よりも5ポイント近く上昇しています。しかし、所属箇所別に見た場合「充実している」と「やや充実している」の割合に違いが見えるようです。

大学生生活は充実していると思いますか？ 所属箇所別





大学を選ぶ大きな理由は、「専門分野がある」 「知名度・注目度」「進路・就職に有利」

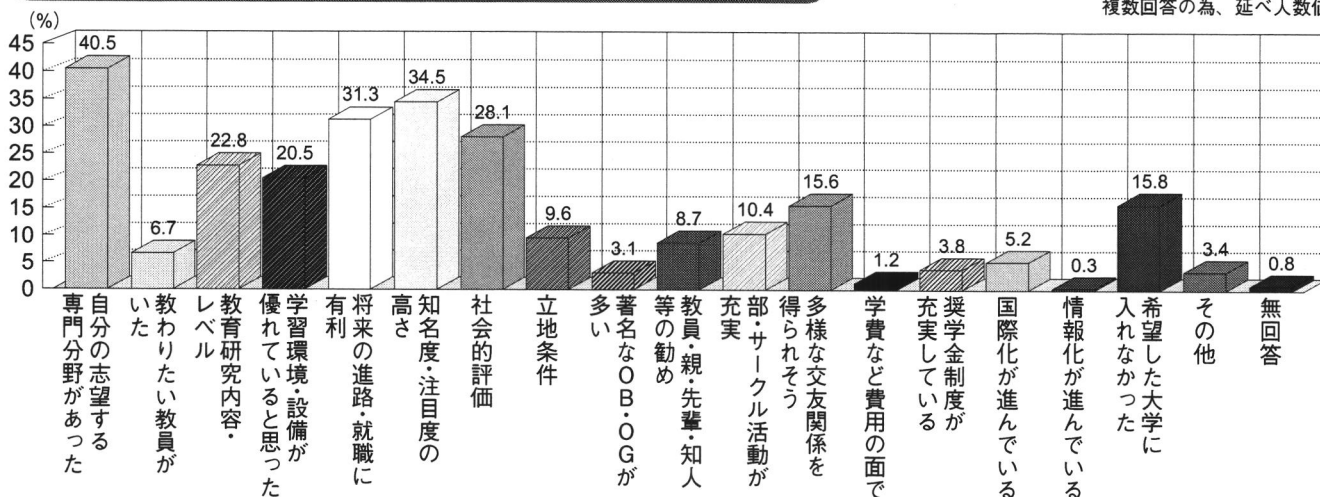


「自分の志望する専門分野があった」：**40.5%** 「知名度・注目度の高さ」：**34.5%**
「将来の進路・就職に有利」：**31.3%**

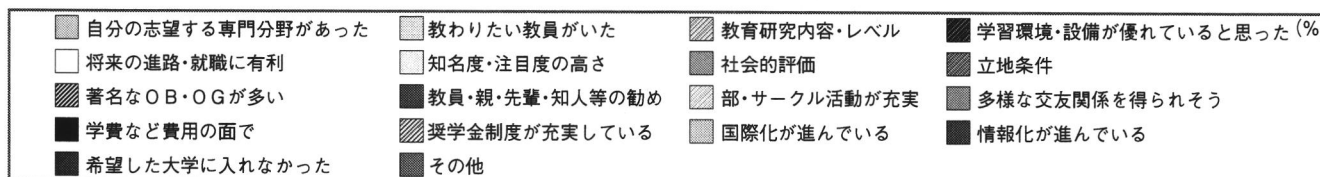
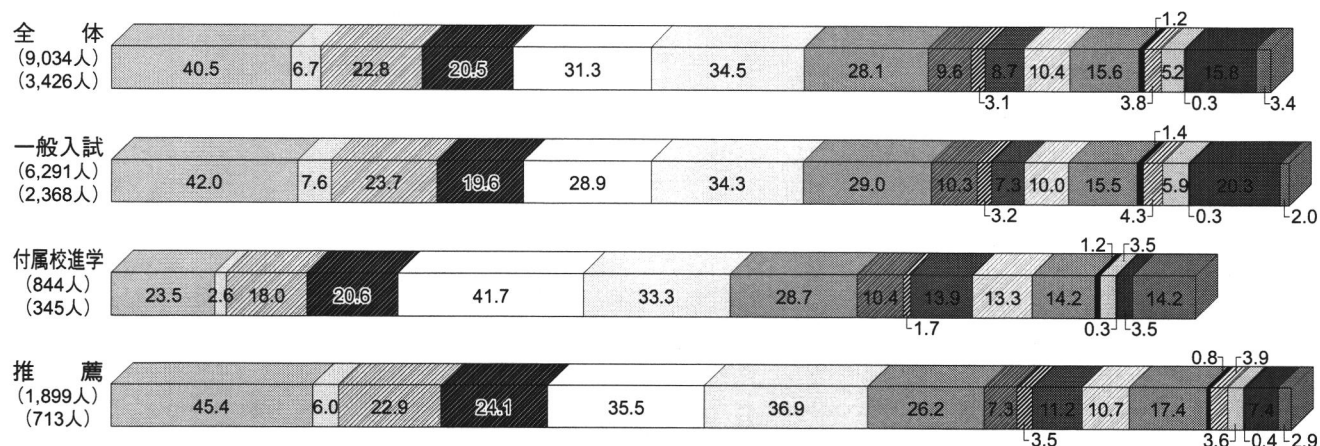
入学形態別に見た場合、一般・推薦入試の「自分の志望する専門分野があった」との回答が多くあったが、付属校より進学した場合、「将来の進路・就職に有利」との回答が多く、入学形態の違いによって目標が異なることがわかります。

早稲田大学を選んだ理由は何ですか？[主なものを3つまで選択]

複数回答の為、延べ人数値



早稲田大学を選んだ理由は何ですか？[主なものを3つまで選択] 入試形態別



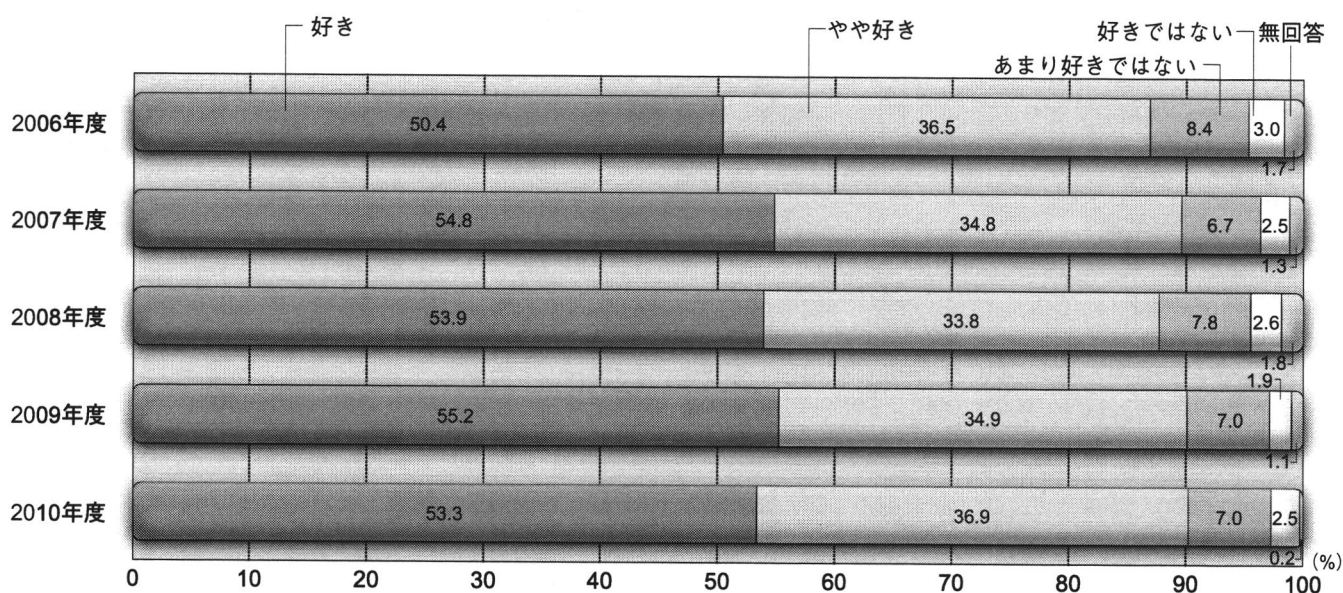
上段は複数回答の延べ数、下段は実際の回答者数

第6章 調査結果の要約と特徴

「早稲田大学について」の回答結果を見てみると、まず「早稲田大学が好き」(53.3%)「やや好き」(36.9%)という大学への愛着度の高さがうかがえました。過去の「好き」、「やや好き」のデータを比べても、2006年度(86.9%)、2007年度(89.6%)、2008年(87.7%)、2009年度(90.1%)、2010年(90.2%)と9割近くを保っているのが分かります。

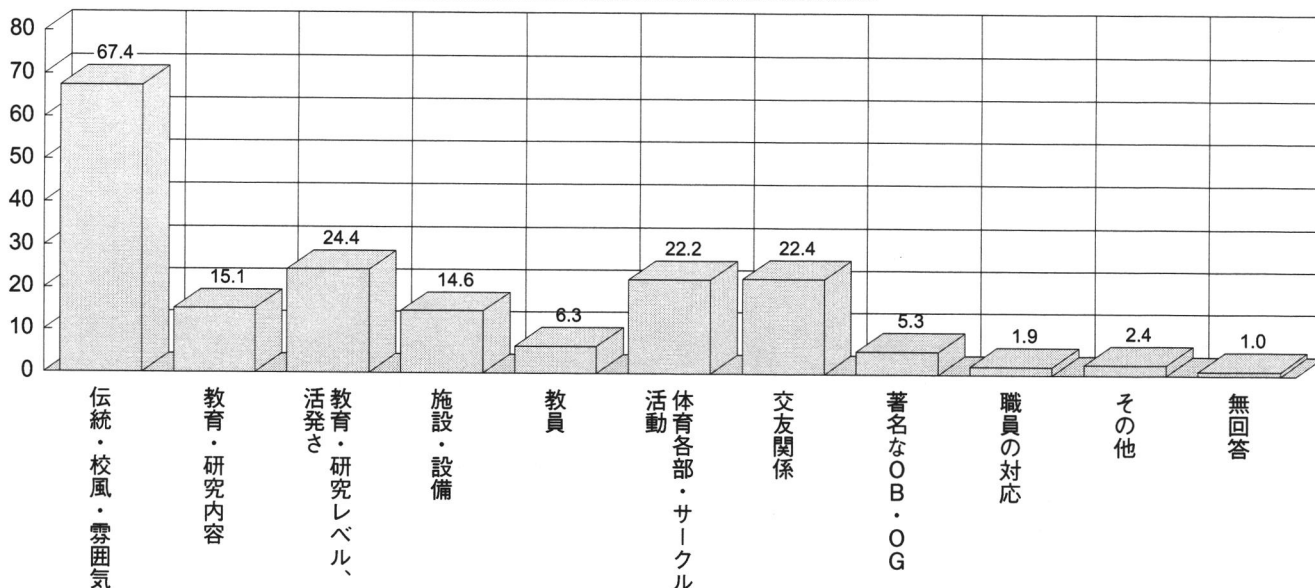
「早稲田大学が好き」と選択した人の理由として「伝統・校風・雰囲気」との回答が圧倒的に多いのが分かりました。伝統の早慶野球戦や箱根駅伝を仲間と共に応援したり、ゼミやサークルでの活動も「伝統・校風・雰囲気」と答える要因の一つかもしれません。どうやら、この「伝統・校風・雰囲気」は、早稲田ブランドの人気の源と言えます。

早稲田大学が好きですか？ 経年変化



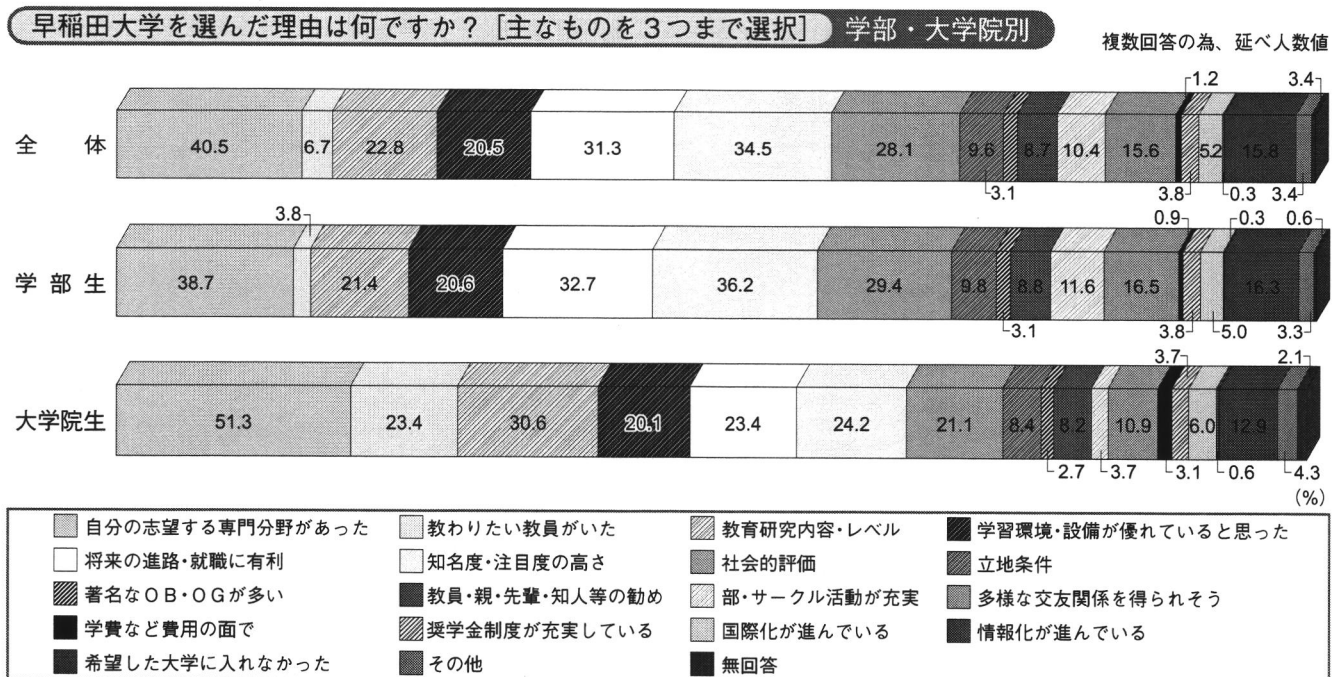
その理由はどこにありますか？ [主なものを2つまで選択]

複数回答の為、延べ人数値



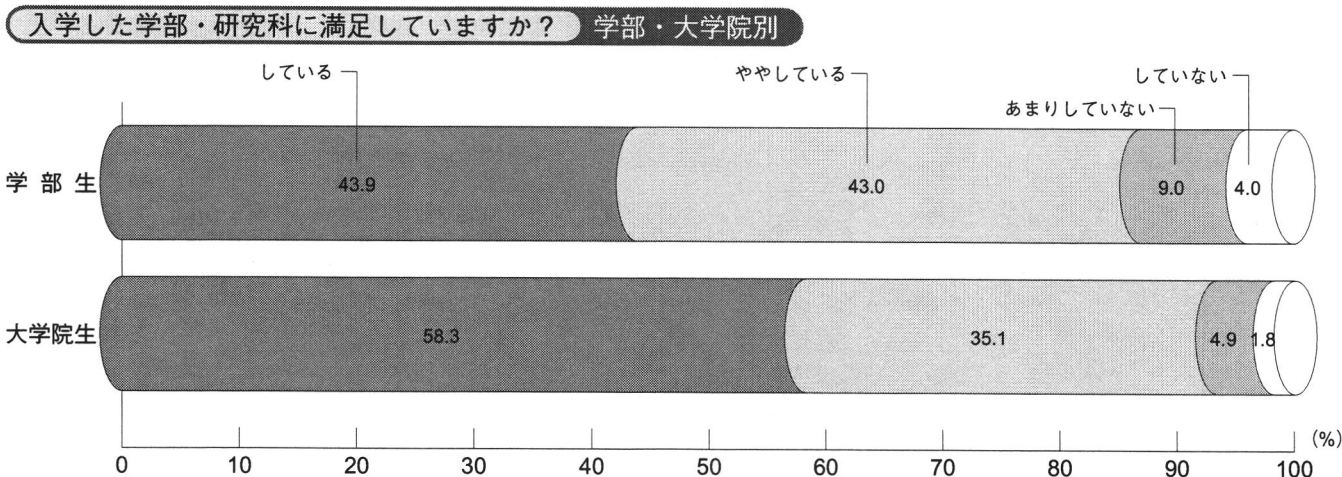
早稲田大学を選んだ理由については、学部学生と大学院学生では大きく異なります。「自分の志望する専門分野があった」との回答は、大学院学生が51.3%に対し、学部学生が38.7%です。また、「教わりたい教員がいた」は大学院学生が23.4%と高く、学部学生においては3.8%と低い回答でした。

これらのデータから大学院学生は、「自分の専門分野の研究」に打ち込めることを大学を選ぶ際の目的とし、逆に学部学生は、まずは「知名度・注目度の高さ」(36.2%)、「将来の進路・就職に有利」(32.7%)ということに重点をおいて大学を選んでいるようです。



「入学した学部・研究科に満足していますか？」の回答では、「満足している」と58.3%の大学院学生が回答しているのに対し、学部学生が43.9%と低く、14.4ポイントもの差を付けています。大学院学生の満足度が高い理由として考えられるのは、当然ながら、大学院を選ぶ際の理由が「自分の専門分野の研究」や「教わりたい教員がいた」とことであったからでしょう。また、近年

は若手研究者の育成にも力を入れており、2009年度には「大学院博士後期課程若手研究者養成奨学金制度」も新設し、経済的な面でもバックアップしています。さらに大学院では、社会人教育にも取り組み社会人を対象としたコースを設け、開講時間などにも配慮したカリキュラムなどを組んでいるということも理由にあげられるでしょう。



大学生活の充実については、全体の約9割が「(充実)している」(44.6%)もしくは、「やや(充実)している」(45.2%)と回答しています。しかし、その反面「(充実)していない」、「あまり(充実)していない」との回答も、全体の10%近くを占めています。

設問(304)「学生生活全般の不安や悩みを教えてください(複数回答可)」と比較してみると、

「(充実)していない」との回答者は、「精神面の健康」(60.4%)、「対人関係」(60.4%)、「性格能力」(54.2%)などの悩みが多くを占めており、これらの関係から心身の健康が学生生活の「満足度」や「充実度」に大きく影響し、大学としても継続したサポートをしていく必要があると思われます。

